

# 若狭ネット

第82号2003年11月29日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！

げんばつ」連絡会(〒915-0235今立郡今立町不老6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原  
発に反対する大阪の会(〒583-0005藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)  
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

## 「もんじゅ」の改良工事を 強引に押し進めようとする動きを止めよう！

**電事連会長かつ関西電力社長である藤洋作さんに聞こう！！**

「核燃料サイクルの総費用は19兆円！

発電単価への影響は4年前の試算と一緒！」

と出したからくりを！ また、プルサーマル計画のことを！

**12月19日（金）午後6時 関電本社前に集合（地下鉄「肥後橋」下車分）**

（事前打ち合わせ12月13日（土）午後1時半より 天王寺区民センター

地下鉄谷町線「四天王寺」駅下車2号出口北100メートル）

### 関電に核燃料サイクルコスト試算 について問いたさう

電気事業連合会は、11月14日核燃料サイクル事業全体のコスト見積を出しました。なんと約19兆円に上ると試算しています。これは、青森県の六ヶ所再処理工場を40年間動かして原発から出る使用済核燃料3.2万トン进行处理し、工場を廃止するまでの費用を計算したものです。計画では六ヶ所再処理工場は2046年に閉鎖されるとしていますが、そのときにまだ使用済核燃料が3.4万トンも残るとしています。なんと半分以上が残ったままなのです。この分も再処理するとすれば2倍以上に膨れあがります。さらに、莫大な金がかかることでしょう。

しかし、19兆円もの費用がかかっても原発の発電単価への影響は小さいと主張して

います。何とも不思議なことに、再処理の廃止費用等が増えたにもかかわらず、4年前の試算と変わらず、他の電源と遜色ないと報告しています。このからくりは後で暴露しますが、実際には、原発の発電単価は非常に高くなるのです。

もし、今回の試算のように、原発が本当に経済性に優れているのなら、核燃料サイクル費用がたとえ莫大でも「新たな法的仕組みを」とか「国民に広く薄く負担を」（電事連会長藤洋作さんの弁）とか求めるのはおかしい話です。「私たち、電力会社の責任で行います」と言うのが筋でしょう。

ぜひとも12月19日の関電交渉(予定)で追及したいと思います。

また、関西電力は今年度内にもプルサーマル用のMOX燃料加工契約を仏COGEMAや英B

NFLと締結するため、準備を進めています。この問題もあわせて追及します。今年最後の交渉です。年末でお忙しいとは思いますが、ぜひ、ご参加をお願いします。

### 福井県のもんじゅの闘いに支援を

国際的な高速増殖炉開発路線は、破綻しています。しかし、日本ではあくまで「もんじゅ」を動かそうとしています。

アメリカは、今から20年前、建設費が予定より10倍以上も高がつくとして計画を中止し、研究も中止しました。

イギリスは、1976年に原型炉を運転開始しましたが、事故を起こし、めどが立たないまま1994年に閉鎖し、欧州高速増殖炉プロジェクトから脱退しました。

ドイツは、原型炉の建設段階で事故を繰り返し、1991年に中止、実証炉計画も同時に中止しました。

フランスは、実証炉を1986年に運転開始しましたが、事故を繰り返し、1998年に閉鎖しました。

このように高速増殖炉開発は、高がつきすぎ、技術的にもきわめて危険なため、撤退が相次いだのです。しかも、1986年にはチェルノブイリ原発事故という原発史上最大の事故を経験したことが大きな要因となったのです。

日本でも、原型炉「もんじゅ」が1995年、ナトリウム漏洩・火災事故を起こしました。「動燃」という名称はなくなり、実証炉開発は中止され、「もんじゅ」はただの研究のために残すとされました。そして、司法では、今年1月の控訴審判決で安全審査に重大な過誤・欠落があり、原子炉設置許可は違法との判決が下されました。現在、国が最高裁へ上訴した状態です。しかし、国は最高裁判決を待たずに「もんじゅ」の改

良工事を強引に進めようとしています。何としても阻止したいものです。

### 新聞折込カンパが30万円集まりました

私たちは、「もんじゅ」反対の声をさらに大きくする闘いが今こそ必要なときだと考え、敦賀をはじめ、その周辺地域の新聞折込をしました。みなさんのカンパが30万円近く集まりました。敦賀、美浜、三方、丹南地域に新聞折込を行うことができました。お礼を申し上げます。今後も新聞折込を続けます。さらにご協力をお願いします。

福井県下では、いろいろな市民グループが、今回の「もんじゅ」を巡る動きに対し、アクションを起こしています。それが、徐々に広がってきつつあります。

「もんじゅ」の運転再開を許さない闘いを、「もんじゅ」を閉鎖する闘いを引き続き取り組んでいきましょう。

### 原発で被曝し労災認定を求める長尾光明さんを支えよう。全国署名にご協力を！

長尾さんは東京電力の福島第一原発などの定期検査で、4年4ヶ月の間に70ミリシーベルトもヒバクしました。その結果、白血病と同じ種類の血液のガンである「多発性骨髄腫」を発症しました。多発性骨髄腫と放射線ヒバクとの関係は明らかですし、年平均16ミリシーベルトという被曝線量は白血病の労災認定基準値の約3倍にも達しています。

長尾さんの労災認定申請に対し、一日も早く業務上疾病として認定されるよう、全国署名に取り組みたいと思います。それは長尾さんへの支援に止まらず、被曝によるさまざまな症状に苦しみながら隠されたままの原発被曝労働者を救うきっかけにもなるのです。ご協力をお願いします。

~~~~~ 今後の予定 ~~~~~

12月19日(金) 午後6時から

**関電交渉 核燃料サイクルコスト試算について問いただす!**

場所 関西電力本社 (地下鉄四つ橋線 肥後橋 駅下車、徒歩7分)



事前学習会を12月13日、天王寺区民センター(四天王寺駅下車)午後1時半

12月20日(土) 午後1時半~4時

**長崎被爆者・山科和子さんの米国スピーチツアー報告**

**And 劣化ウラン兵器禁止に向けた取り組みについて**

場所 東淀川勤労者センター (JR新大阪 駅下車)

主催 ビバク反対キャンペーン 連絡先 0727-92-4628(たてべ)



・新聞折り込み基金のカンパありがとうございました!

おかげさまで、約30万円集まりました。

これからもよろしくお願ひします。 若狭ネット きよ子

『お詫び二題』 若狭ネット購読の皆様へ 若狭ネット福井 山崎 隆敏

私は、前回の若狭ネットのニュースで、特大葉書を県議に送る提案をしました。

しかし、大きな市(福井市のような)以外の小さな町では、県議に葉書を送るのは至難ということでしょうか、県民の反応は今ひとつでした。そこで、同じころに提案のあった、折り鶴を敦賀市長と知事へ送る運動の方に力を注ぐことになりました。急な方針転換をお詫びします。

もう一つのお詫びです。そのニュースで「アイリーンさんをはじめ関西の人たちと県議会に会いに行きました」と書きましたが、県議に会いに行く提案をし準備をされたのは、池島さんたち「ストップ・ザ・もんじゅ」の方々です。正確に書かなかったことを心からお詫び申し上げます。

編集後記

- ・10月24日に関電交渉に行きました。今回も、質問に対する回答は、文書回答ではなく、あくまでも「口頭です」という関電広報部。私たちの質問内容は、「前もって文書で提出せよ」と言うのに、その回答は、いつまでたっても文書で回答しない関電。文書で書いて報告するのは、正確に伝えるためにも必要だし、読み手の誤解を防ぐためにも重要で、現代社会では常識になっているのではないのでしょうか。どうして、文書で書けないのでしょうか。本当に不思議な会社です。みなさんも一度、関電交渉に参加してみませんか。
- ・11月4日の毎日新聞では、核燃サイクル費2兆円と出ている。再処理操業から廃止までの72年間で2兆7千億円と電事連が明らかにしたとある。ところが、11月17日の朝日新聞では、電事連が11日に今後約80年間で1兆9千億円と、公表した。8年も違うし、約3兆円も違う。大きなからくりを隠し、私たちをはぐらかすためにごまかそうとしているのでしょうか。電事連の会長・関電社長である藤洋作さんに聞きたいものです。
- ・朗報! 珠洲原発断念と報道がありました。高い原発から撤退する動きがはっきりと! きよ子